地域生活支援室からのお知らせ

～患者様とご家族の方へ～

外来受診や入院相談に関しては、
地域生活支援室のソーシャルワーカーが対応します。
ささいな事でも構いませんので、お気軽にご相談ください。

～医療機関および施設の方へ～

地域医療連携の窓口として
「地域生活支援室」が、お話をうかがいますので、
ぜひご利用ください。

私たち地域生活支援室は、３年前から訪問看護により、
「より良い地域生活のお手伝いにむけたサポート」を行なっています。
さらに、ゆずクリニック（鍛冶屋町銀嶺ビル3F）でも、
常勤のソーシャルワーカーが訪問看護を行なっていますので
あわせてよろしくお願いします。

受付時間：8:50～17:10　電話 095-878-3734（代表）　ファクス095-878-3289（代表）

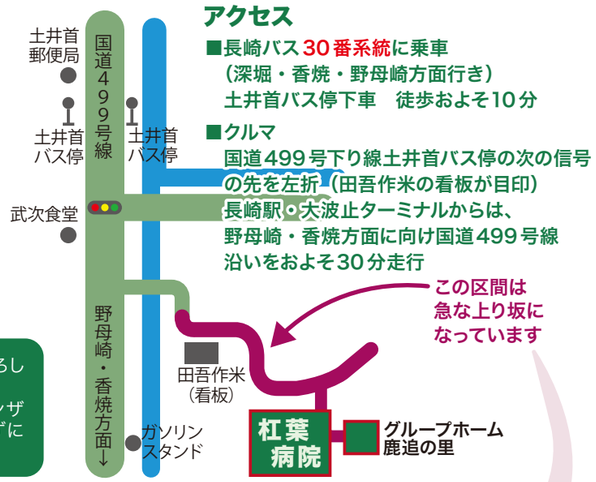
杠葉病院は、大正13年に創設された精神科の医療機関です。
長崎市南部の緑豊かな環境の中、地域に根差した医療を心がけています。
職員一同、「患者様本位の医療と看護」の理念に基づいた人間的温かみのある医療サービスの提供に努めます。

診療科目　精神科・心療内科・内科・歯科・歯科口腔外科・矯正歯科

病床数　355床　**駐車場**　約100台

〒850-0975 長崎県長崎市三和町413番地
電話　095-878-3734
ファクス　095-878-3289
杠葉病院　検索　http://www.yuzuriha.or.jp/

編集後記
新年あけましておめでとうございます。本年度もよろしくお願いします。
今年の冬も寒い日が続いていますね。インフルエンザやノロを予防するためにも、手洗いうがいを忘れずに行なっていきましょう。



アクセス
■長崎バス30番系統に乗車
（深堀・香焼・野母崎方面行き）
土井首バス停下車　徒歩およそ10分
■クルマ
国道499号下り線土井首バス停の次の信号の先を左折（田吾作米の看板が目印）
長崎駅・大波止ターミナルからは、野母崎・香焼方面に向け国道499号線沿いをおよそ30分走行

当院へ徒歩でお越しの際は、坂の登り口より電話（095-878-3734）していただければ、坂の下までお迎えに参りますので遠慮なくご利用ください。（土日祝は除きます）

医療法人協治会 杠葉病院
のびのびリング
2014 新春 第3号
http://www.yuzuriha.or.jp/　編集発行：医療法人協治会　杠葉病院　☎095-878-3734

長崎市立「長崎ペンギン水族館」付近から

ペガサスに乗って

新年明けましておめでとうございます。平成26年のお正月を迎え、新年のごあいさつを申しあげます。

今年は長崎県で国体が開催される年です。長崎県民の「おもてなし」の心でぜひ成功させたいものです。また、今年は診療報酬改定の年でもあり、何かと対応に追われる多忙な一年になりそうです。

最近は一年、一年が経過するのがとても早く感じられます。おそらく年齢のせいでしょう。だからこそ、この一年を大事にし、充実した一年となるよう努力したいものだと考えています。若い方々も、一年に何か一つを達成しようと目標を立てて精進されてはいかがでしょうか。

今年は午年ですが、公私ともにペガサスに乗って天を駆けるような素晴らしい一年であってほしいと願っております。我々、協治会職員もさらに地域医療の充実に貢献できるようがんばってまいりますので皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

今年も皆様にとって良い年でありますよう、心からお祈りして新年のごあいさつといたします。

理事長　杠葉輝明

病院理念

患者様本位の医療と看護

基本方針
一、人間としての尊厳と生活の質を重視した全人的なケアの提供
二、地域社会との連携を目指した医療・看護サービスの提供
三、職員の専門知識の向上による医療・看護の充実

薬剤部のご紹介

薬を通じて医療スタッフと患者様をつなぐ役割を担っています

当院の薬剤部スタッフは薬剤師5人、助手2人（平成25年12月現在）で構成されています。

薬剤部の仕事は、医師の処方せんに基づいて外来・入院患者様のお薬を調剤する「調剤業務」、患者様に服薬の意義をご理解いただくことで、お薬を適正に服薬してもらうための「服薬指導業務」、医師や看護師をはじめとする医療スタッフへ医薬品情報の提供を行う「DI業務」、医薬品・材料の発注や在庫管理といった「薬品管理業務」、その他、感染症対策や医療安全、医薬品の安全使用などについて、関連部署と連携して業務を行なっています。

薬剤部の皆さん（前列右が飛永科長）

安全で有効なお薬を、患者様に正しく安心して服薬いただくためのコミュニケーションをしっかりとっていくよう、毎日の業務に全力をあげて取り組んでいます。

（薬剤科長　飛永たまみ）

病棟を、ご紹介します！

第2回A-2病棟（精神一般病棟）

「病棟紹介」の2回目です。
今回は「精神一般病棟」であるA-2病棟を紹介します。
今後3～5回目は「精神療養病棟」、
最終回は「認知症治療病棟」の順に紹介していきます。

笑顔でコミュニケーションを

A-2病棟スタッフの皆さん

A-2病棟もA-1病棟と同じく精神一般病棟です。急性期の精神疾患患者様のほか、近年は、高齢で認知症などの身体合併症を伴なって入院される方を多く受け入れています。

病棟スタッフは、看護師・准看護師が18人、介護士が10人です。スタッフはマニュアルに沿って基本業務にあたり、チームワークをモットーに、スタッフ間の連絡・報告を密に行うよう心がけています。また、患者様の情報をスタッフ間で共有することで、転倒・誤薬・誤嚥などの事故を防ぐよう心がけています。さらに、今年度は、患者様やご家族に、笑顔で丁寧に接するなど接遇の向上にも努めています。患者様やご家族にA-2病棟で治療を受けて良かったと思っていただけるよう、これからも常に感謝の気持ちを忘れずに、安全・安心な看護や介護、充実した環境づくりを目指して頑張ります。

（松浦美智子）

杠葉病院 A-2病棟
松浦美智子 師長

長崎げんき会の病院訪問

家族支援の輪を広げたい

杠葉病院を訪問して一番印象に残ったことは、患者さんと精神保健福祉士の方の心の通った触れ合いでした。病棟は明るく開放感があり、息苦しさを感じることはありませんでした。病院関係者の方々のご努力の賜物だと思います。

私たち「長崎げんき会」は、兄弟姉妹が精神障碍を持つ者の会ですが、精神保健福祉士の方々が家族支援にも興味を持ってくださっていることに大変勇気をもらいました。家族の力が患者さんの生きる力に繋がると思いますので、家族支援の輪が広がっていくことを切に願ってやみません。

（長崎げんき会　黒田）

当院を訪問された「長崎げんき会」の皆さん

長崎げんき会とは？

**げんき会は、心的（精神）障がい者の兄弟姉妹会です。
いろんなことを語り合い、学び合い、助け合うことで、
自分や家族が少しでも“げんき”になるよう活動しています。**

お問い合わせは「地域活動所のぐさ」まで。
電話 095-848-7641（長崎市中園町）
ブログ　http://genki9.blog99.fc2.com/

〈活動内容〉
- 例会では近況報告や情報交換
- 福祉制度や法制度、疾病や薬などの理解
- 病院や施設の見学会
- 食事会での交流
- ホームページや例会報告での会員への情報提供
- 他の兄弟姉妹会との交流

〈交流のある兄弟姉妹の会〉
- 佐世保兄弟姉妹会
- 佐賀げんき会など

職員活動

10月14日（体育の日）

第16回 長崎市民体育・レクリエーション祭

弓道の部
来年も、
また優勝旗を持って
帰れるよう、頑張ります！

ソフトボールの部
結果は
コールド負けだったけど、
楽しめましたぁ♪

緑の帽子（右側）が当院のソフトボール部です

第52回 藤村薬品杯ソフトボール大会

昨年の平成25年9月23日（春分の日）、第52回藤村薬品杯ソフトボール大会（長崎地区）が行われました。選手全員が、この一年間の練習の成果を十分に発揮できたと思います。結果は「1勝1分け」と健闘したものの、2年ぶりの県大会出場とはなりませんでした。来年こそは、「県大会出場」を果たしたいものです。

（吉田形 和伸）

研修会報告

看護部から

第66回九州精神神経学会
第59回九州精神医療学会
合同年会

発表者：山崎 貢（看護師）、川口英樹（看護師）、峯 和弘（看護師）、若浦雄也（看護師）、岡本潤子（作業療法士）

11月7日から8日にかけて、標記の学会にて「慢性期閉鎖病棟における患者の運動不足解消への援助」をテーマとした発表を行いました。本学会では、多岐にわたる精神医療分野において、困難な症例における知見や工夫の発表といった実践的な内容から、精神科病院と地域医療が今後、より密接に連携を図っていくにあたり何が求められているのかといった先進的な取り組みまで、幅広い内容が採りあげられ、私たちにとって大変有意義な研修となりました。

今回、私たちが発表した内容は、入院患者様の運動意欲を向上させるための手法に関するものです。精神科の入院患者様においては、長期の入院生活や閉鎖環境によって意欲が低下し運動不足に陥ることが多いほか、間食や薬の影響などにより体重が増加しがちであることが知られています。この肥満や運動不足は、生活習慣病をはじめとする慢性疾患の原因ともなり、治療にも好ましくない影響を与えます。そのため、患者様に適切な運動の習慣をつけていただくことにより、健康の増進と意欲の向上につなげることを目的として研究を行なったものです。

成果としては、運動を行うことの重要性を患者様に意識付けることを心がけるとともに、要望などを積極的に取り入れることにより、患者様自身の運動に対する意識を徐々に向上させることができました。他方、体重の減少など身体的な数値にあまり変化がみられないことから、意欲が衰える患者様もみられました。この様な患者様には、運動に関する指導とともに、食事の内容や間食の習慣に関する改善指導も必要となります。

今回の成果を踏まえ、患者様により良い入院生活を過ごしていただけるよう、一層の努力をしていきたいと考えます。

（山崎 貢）

報告会で発表をする山崎看護師

薬剤部から

第23回日本臨床精神神経薬理学会
第43回日本神経精神薬理学会
合同年会

発表者：米澤 健（薬剤師）

10月24日から26日にかけて、「小児ADHD患者における atomoxetine および methylphenidate の有用性」の演題名でポスター発表を行いました。今年の学会会場は嬉しいことに沖縄県。学会の合間にちょっと観光も、と内心楽しみにしていたものの、学会期間中は台風27号の影響で激烈な暴風雨。テレビニュースによれば風速は35mだったとか。おかげで学会会場以外はどこへも行けず、3日間にわたってみっちり腰を据えて勉強できました。

今回の発表は、長崎大学精神神経科の小澤教授と共同でさせていただいた研究についてまとめたものです。内容は注意欠陥／多動性障害（AD／ HD）の小児患者様について、「現在、日本で使用可能な2種類のお薬（atomoxetineとmethylphenidate）による治療効果の比較」、「お薬の副作用の程度」、「お薬の飲み心地や働きへの印象」、「お薬をきちんと飲めているか」などの点を確認したものです。結果は、2種類のお薬の治療効果に大きな差は見られず、副作用による特段の問題も確認されませんでした。お薬の飲み心地や働きについては良好であると考える保護者様が多いことが分かりましたが、他方、主治医の指示通りにお薬をしっかり飲めている患者様が予想外に少ないことも判明しました。

日々の医療現場でもお薬を服薬することに不安を抱く患者様は少なくありません。まして当事者が小児であれば、お薬の副作用に不安を抱く保護者様が多いのも当然のことです。今回の研究結果から、臨床に携わる一薬剤師として、患者様に納得・安心していただき、しっかりお薬を服用していただけるような服薬指導を心掛けねばと改めて実感しました。

（米澤 健）

発表パネルを前に　米澤薬剤師

作業療法課　入院生活にメリハリを！ 楽しみながら心身機能を改善させる取り組み

「レクリエーション活動」と「手芸を中心にした創作活動」を催しました！

手芸による創意工夫やオシャレを楽しむことで健康な心を取り戻します

誰もが楽しめる音楽はリズムをとることで運動にもなり自然と交流の輪もできます

楽しいゲームでみんなとワイワイ♪ハイスコアを目指して頑張る意欲も出てきます！

作業療法課では、7人の作業療法士が日々活動しています。

【センター作業療法】
主に創作活動（手芸や塗り絵、学習プリントなどの脳トレ）を行なっています。各病棟から作業療法室に集まり、個々の能力や意向に応じて楽しみながら、活動しています。

【病棟作業療法】
作業療法士が病棟へ出向き、いつでも誰でも参加できるオープンな雰囲気で、全員が楽しめるレクリエーション・ゲームなどを行なっています。

レクリエーション委員会との連携により、入院生活にメリハリを与える各種の催し物を開催しています。
心身機能の改善にも有効な「季節を感じる」ことや「楽しさを味わう」ことを実感していただきたいと考えています。

（作業療法課長　前園健之）

新人紹介

新しい仲間が加わりました！ よろしくお願いします！

高橋忠則（准看護師）
鹿児島から来ました。
心機一転頑張ります！

堀 光雄（介護士）
一生懸命、頑張ります。